

# 国保税の軽減対象を拡大

## 軽減対象世帯の所得額の計算方法を改善



**2200人がはつらつと**  
**4月5日に上越市成人式**

このほど、上越市で成人式が行われました。今年の新成人は約2200人。このうち約1600人が参加しました。年々減少してきていますが、これからの上越市を担う若者たちの元気な姿に、頼もしさを感じるひとときでした。

新成人代表でスピーチをした関原さんと池田さんの2人は、それぞれに自らの思いを込めて、「世界に羽ばたきたい」「夢はあきらめなければ実現する」と語りました。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 405 2014年4月13日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

## 一方で、医療費は70～74歳の窓口負担を倍増

### 軽減対象広がる

今年度の税制改正に伴い、関係法令が先月末に公布、4月1日から施行されました。

その中で、国民健康保険税では、世帯にかかる分と人数にかかる分の軽減措置の対象が広がりました。

これまでは、上記分を5割軽減する世帯の所得額の上限は、「世帯主を除く被保険者数☆×24.5万円+33万円」でしたが、今後は世帯主も含めた人数で計算します。つまり、「世帯主を



含めた被保険者数☆×24.5万円+33万円」が、5割軽減の対象になる世帯の所得額の上限となります。その結果、5割軽減の対象世帯が、上越市内だけでも2000世帯以上広がります。

同様に、世帯分と人数分を2割軽減する世帯も広がります。こちらは、これまで所得額の上限が、「世帯の被保険者数☆×33万円+33万円」でしたが、今後は「世帯の被保険者数☆×45万円+33万円」となります。

なお、このほどの国保税の制度改正では、保険税の課税限度額も

引き上げられました。これまでは、いくら所得が高くても、国保税は77万円が上限でしたが、今後はその上限額が81万円に引き上げられます。

(注：☆特定同一世帯所属者を含む)

### 高齢者の窓口負担増も

医療費では、今年の大きな制度改定で、大きな改悪があります。

これまで1割負担だった70歳から74歳の窓口負担の特例措置が、今年度70歳に到達する人から段階的に2割負担になるというものです。つまり、これからは、医者にかかる、窓口での支払いが、これまでの人たちの2倍になりますので、年金しか収入のない高齢者にとって、大きな負担となります。

## 巻原発建設計画を阻止した住民の闘い描いた映画 600人超える市民が鑑賞

住民投票で「原発建設N o !」を、全国で初めて選択した西蒲原郡巻町(現新潟市)が舞台の映画「渡されたバトン」が、5日リージョンプラザコンサートホールで上映されました。

投票率88.3%。推進派も反対派もみん

なで投票した住民投票が、なぜ実現できたのか。史実に基づき、巻町民の住民投票に至るまでの紆余曲折、波乱に満ちた様々なドラマを、ある家族の視点を中心に描いた映画です。

上越では、危険な原発をこの地からな



くそうという思いをともにする多くの団体や個人の呼びかけで、自主上映という形で上映が実現しました。

この日は、3回の上映にそれぞれ200人前後の市民が集い、合計で600人を超える市民が鑑賞しました。